

9/1-7#5花嫁の義:I.神の義とは、神が彼の公正と義なる行ないにおいて何であるかです:1ヨハネ1:9 もし、私たちが自分の罪を告白するなら、神は信実で義であられるので、私たちの罪を赦し、すべての不義から私たちを清めてくださいます。A私たちのキリストに対する経験は、神の義の土台にかかっています。Bこの土台は、神の義、すなわち、神の御座の揺り動かされない土台です。II.義には四つの面の定義があります:A義は、神の義なる厳格な要求にしたがって、神の御前で、人、事、物に対して正しくあることです。B義は、その霊として私たちの中に生きるキリストの外側の表現です:2コリント3:8 ましてその霊の務めは、栄光の中にないわけがありませんか? 9 罪定めする務めに栄光があるなら、まして義とする務めは、なおさら栄光にあふれるのです。1これは神のかたちとしての義です。エペソ4:24 また、あの実際の義と聖の中で、神にしたがって創造された、新しい人を着たのです。コロサイ3:10 新しい人を着たのです。その新しい人は、それを創造された方のかたちにしたがって全き知識へと至るように、新しくされつつあるのです。2義の務めは、主のかたちの務めです。C義は神の王国の事柄です:1神の王国は義です。2義は神の統治、行政、支配と関係があります。D義は私たちの存在において神に対して正しいという事柄です:2コリント5:21 神は罪を知らなかった方を、私たちに代わって罪とされました。それは、私たちが彼の中で神の義となるためです。1私たちの存在において神に対して正しいとは、内なる存在が透き通っており、水晶のように透明であること、すなわち、内なる存在が神の思いとみこころの中にあることです。2これは、私たちがキリストの中で神の義となるという事柄です。III.義は神の外側の行ない、方法、行為、活動と関係があります:A神が行なうあらゆることは義です。B神が彼の公正と義において何であるかが、彼の義を構成します。IV.神は彼の御子イエスの血において義です:A神はご自身の言葉において信実であり、彼の御子イエスの血において義です。B彼の言葉は彼の福音の真理の言であって、それは彼がキリストのゆえに私たちの罪を赦すと告げています。キリストの血は彼の義なる要求を満たしました。それは彼が私たちの罪を赦すためです。C私たちを赦すことは、私たちの罪の違犯から私たちを解放することであり、私たちを清めることは、私たちの不義の汚れから私たちを洗うことです。V.義は神の王国と関係があります:ローマ14:17 なぜなら、神の王国は食べ飲みすることではなく、義と平和と

聖霊の中の喜びとであるからです。8:4 それは律法の義の要求が、肉にしたがってではなく、霊にしたがって歩く私たちにおいて、満たされるためです。A召会生活は神の王国であり、神の王国は義です。B神の御座は、土台としての義をもって確立されています。C神の義がある所に、神の王国もあります。D旧約において、義はしばしば王国と同義語です。E義がある所では、あらゆるものは正しい方法でかしらにつり上げられます。これが王国です。F義はまず神のかたちという結果になります。義は次に神の王国を確立します:1ローマ第8章には義と神のかたちがあります。2ローマ第14章には義と神の王国があります。3かたちと王国はいずれも義に基づいています。G義が新しい天と新しい地に住むと言うことが意味するのは、あらゆるものが秩序の中にあり、かしらにつり上げられ、規制されるということです:1ペテロ2:24 私たちが罪に死んで、義に生きるために、彼は私たちの罪を、ご自身の体において、木の上で担われました。その方の打たれた傷によって、あなたがたはいやされたのです。2ペテロ3:13 しかし、私たちは彼の約束にしたがって、義が住む、新しい天と新しい地を待ち望んでいます。1あらゆるものが統治され、制御され、正当な支配の下にあるようになります。なぜなら、神の御座、王国、神聖な行政がそこにあるからです。2その結果は平和と喜びです。VI.啓示録19:7~8で、私たちは花嫁の義を見ます:啓19:7 私たちは喜び歡喜し、彼に栄光を帰そう。小羊の婚姻の時が来て、彼の妻は用意を整えたからである。8 彼女は輝く清い細糸の亜麻布の衣を着ることを許された。その細糸の亜麻布の衣は、聖徒たちの義である。Aキリストが信者にとって義であることには二つの面があります:1第一の面の信者たちの義としてのキリストは、彼らが神に対して悔い改めてキリストの中へと信じる時、彼らを神の御前で客観的に義とします。2第二の面の信者たちの義としてのキリストは、神の現れとして信者たちから生かし出されます。この神はキリストの中で信者たちに与えられた義であり、神によって彼らが主観的に義とされるようにします。3キリストは私たちの客観的な義として、私たちが彼の中で神によって義とされるようにします。4キリストは私たちの主観的な義として、私たちの中に住んで、私たちのために、神によって義とされることができる生活、また常に神に受け入れられる生活をする方です。Bキリストは聖徒たちの主観的な義として彼らから生かし出され、彼らの婚宴の礼服となります:1私たちが救いのために受けた義は客観的で

あり、私たちが義なる神の要求を満たすことができるようにしますが、勝利を得た聖徒たちの義は主観的であり、彼らが勝利を得たキリストの要求を満たすことができるようにします。**2**マタイ22:11～12の婚宴の礼服が表徴するのは、日常生活において、私たちが生かし出すキリスト、私たちを通して表現されるキリストが、私たちの超越した義となることです。

マタイ22:11しかし、王が入って来て、食卓に着いている人たちを見ると、そこに婚宴の礼服を着ていない人を見たので、**12** 彼に言った、『友よ、なぜあなたは、婚宴の礼服を着ないで、ここに入ってきたのですか?』彼は返事ができなかった。**啓3:4**しかしサルデスには、自分の衣を汚さなかった者が数名いる。彼らは白い衣を着て、私と共に歩くであろう。彼らはそれにふさわしいからである。**5** 勝利を得る者は、このように白い衣を着せられる。私は彼の名を、命の書から決して消すことはしない。私は彼の名を、私の父の御前と彼の御使いたちの前で言い表す。**C**主の花嫁、彼の妻は「用意を整えた...彼女は輝く清い細糸の亜麻布の衣を着ることを許された。その細糸の亜麻布の衣は、聖徒たちの義である」(**啓19:7b-8**)。**1**啓示録19:8は衣と義を明確に結び付けています。**28**節の「義」という言葉は複数であり、「義なる行ない」と訳すことができます。**3**これらの義なる行ないは、私たちが救いのために受けた、私たちの義としてのキリストを指しているものではありません。**4**細糸の亜麻布は、私たちの勝利を得る命、私たちの勝利を得る生活を示しています。**5**細糸の亜麻布は、私たちの存在から生かし出されるキリストです。**D**「小羊の婚宴に招かれている者[勝利を得る聖徒たち]は幸いである」(**啓19:9**)。**1**ここの小羊の婚宴は、**マタイ22:2**における婚宴です。**マタイ22:2**「天の王国は、王が自分の息子のために婚宴を用意するようなものである。**2**キリストの婚宴に招かれるのは幸いです。**3**小羊の婚宴に招かれている勝利を得た信者たちは、小羊の花嫁でもあります。

証私は1ヨハネ1:9を読んで、罪の赦しが神の義をベースにしていることに気づき、驚きました。私は自分の罪を告白すると、神は私を愛しているので、私の罪を赦すことができると考えていました。しかし神が私の罪を赦す行為は、完全に義に基づいています。**1ヨハネ1:9** もし、私たちが自分の罪を告白するなら、神は信実で義であられるので、私たちの罪を赦し、すべての不義から私たちを清めてくださいます。**FN2**神は彼の言葉において信実であり、御子イエスの血において義です。神の言葉は、福音の真理の言葉です。それは、神がキ

リストのゆえに私たちの罪を赦し、またキリストの血が神の義の要求を満たして、神が私たちの罪を赦すことができるようにしたことを告げています。私たちが自分の罪を告白するなら、神は彼の言葉にしたがって、イエスの血による贖いに基づいて、私たちを赦されます。なぜなら、神は彼の言葉において信実でなければならず、イエスの血において義でなければならないからです。そうでないと、神は不信実となり、不義となるでしょう。

今週のアウトラインは言います:**I.A**私たちのキリストに対する経験は、神の義の土台にかかっています。**B**この土台は、神の義、すなわち、神の御座の揺り動かされない土台です。**V.G**義が新しい天と新しい地に住むと言うことが意味するのは、あらゆるものが秩序の中にあり、かしらにつり上げられ、規制されるということです』これらのアウトラインに基づく、キリストの経験は義を土台としなければならず、義は統治と秩序をもたらします。

ここで私は以前の職場での証をします。私がある米国本社に日本法人にヘッドハンティングで転職して直ぐ、日本法人の役員たちが全員、米国本社のキー・ストラテジー(key strategy:最重要戦略)を無視していることに気づきました。神の目から見て、これは明らかに不義です。私は入社1か月後に、本部の全体会議を開催し、冒頭の1時間で次のように説明しました、「私たちの米国本社は非常に優れており、株価は業界で最高値に達しています。彼らはあらゆる行動の元になるkey strategyを設定しています。私たち日本法人のすべての人は、このkey strategyを理解し、それを自分自身のkey strategyとしなければなりません」。私のメッセージのアウトラインは、英語で書かれており、そのまま米国本社にも報告しました。その結果、米国本社は大変喜び、「この人がいるので、私たち本社は日本に安心して投資できる」と言いました。ある時、私の部下の一人が、私に尋ねて言いました、「あなたはなぜそのように潔く米国本社のkey strategyをあなたのstrategyにできるのですか?」。私はすぐに応えました、「この会社は私の会社ではありません。私は彼らがkey strategyを決定する時に、招かれていません。ですからどのようにこれが決められたか私は分かりません。しかしどうであれ、私はこの会社から給料をもらっている以上、この会社の権益のために彼らの方針に従って、全力を尽くさなければなりません。そうでないと私は会社に対して不義になってしまいます」。私の召会生活、家庭生活、ビジネスライフに義の土台が据えられなければ、私は神によって祝福されることはできません。